

まちづくり座談会（第29回議会報告会 & 第8回意見交換会）報告書

淡路市議会議員 岨下 博史 様

令和8年5月18日

会 場 岩屋公民館
班 長 岨 光彦

開催日時	令和8年5月14日（木） 午後2時 ～ 4時
開催会場	岩屋公民館（岩屋事務所1階）
出席議員	岨 光彦、石岡義恒、岡田教夫、小田晃正
参加者数	合 計 10人（うち男性 7人、女性 3人、その他 人）

2026.5.14 第29回議会報告会 要望・質疑・回答

No.	要望・質疑	回答(済)
1	スポーツパークについての常任委員会報告ですが、総額がいくらかという必要なことがぬけている。利用状況を書いているわけでもないし、もう少し工夫をして欲しい。	令和7年度の工事であり、4,700万円かかっています。今回の議案は運用面についての議案です。しかし指摘の通り、工夫は必要でした。
No.	要望・質疑	回答(済)
2	1万円の商品券の配布については、使い方が難しい。使える魚屋、八百屋、スーパーが一軒もない。生活支援になっていない。5,000円は現金、5,000円は商品券など、柔軟に使えるようにして欲しい。	使い勝手が悪いというのは、その通り。今回は、市民に早く届くように、スピードを重視した。
No.	要望・質疑	回答(済)
3	敬老会が今年からなくなるのはなぜか。	なかなか集まる人数が少なくなった。各5地区でコンパクトに開催するべきだと市当局に言っています。

No.	要望・質疑	回答(済)
4	町内会への50万円の補助(まちの魅力度アップ支援事業)は、どんなことをしたらもらえるのか。	議会で取り上げたい。(本人には、後日町内会総会で出された資料をもとに説明をしました。)
No.	要望・質疑	回答(済)
5	農業振興地をはずしてほしい。高齢で農地を売ることもできない。買ってもらえたら助かるのですが。	そのような相談は他にも聞いています。議会でも柔軟に対応するよう要望しています。農地バンクの制度があり、農業をしたい人を見つけてくれるものであり、検討してください。
No.	要望・質疑	回答(済)
6	地域の活性化のために、岩屋の橋脚にエレベーターをつけて、バスが乗れるようにしてほしい。	会派として国へ要望を出している。

※ 「要望・質疑」「回答の済・未」のどちらかに必ず○を付けてください。

2026.5.14 第8回意見交換会 意見・回答

No.	意見・要望
1	水不足の神戸新聞の記事については、令和7年8月31日であり、対応が遅い。もっと早く掲載していただければありがたい。
No.	意見・要望
2	2つの意見書が可決し、国に要望しています。刑事訴訟法の改正については、この国会で改正を行う予定であり、評価したい。
No.	意見・要望
3	島外の若者には住宅購入補助制度があるが、それよりも今淡路市にいる若者が、外に出ないようにする施策を。島外に出るばかりで、ほとんどの地域が寂れるだけだ。
No.	意見・要望
4	別所の地域などは、バスが通っていない。タクシーを使うか、若い人に乗せていってもらえない。車の運転ができない人に何か手立てをとって欲しい。
No.	意見・要望
5	旧ポートターミナル駐車場が、6月までに解体する予定だったがまた伸びた。解体して車の待機場所をつくらないと、送迎に苦勞する状態が続く。議員が動いて欲しいし、市民へ情報を流して欲しい。
No.	意見・要望
6	大きな店舗が出来ても、小さい店舗が潰れている。お年寄りの買い物が大変だ。小さい店舗が持てるようにしてほしい。

No.	意見・要望
7	<p>東浦地区の連合町内会から定数削減の要望書が出てきたというが、個々の町内会からは聞いたことがないという。民主的な手続きもとっていないのに、全体の意見のように持って行っている。</p> <p>議会とは、議会とは何かを議論せずに、数だけを議論するのは民主主義のルールに反すると思う。議員定数は、人口だけではなく、淡路市には西海岸、東海岸があり、地理的条件が違うし、人口密度の多いところと少ないところがある。いかにして住民の声が行政に反映しているかをみんなで議論したうえで定数が決まっていくのではないか。洲本市議選では定数の2倍近くの立候補者があり、東浦では多くの立候補者が出た。力がある人ばかり議員になっていいのか。議員の役割は大きい。1人、2人減らしても全体の会計の0.0何%かだ。議員は選挙がある。</p> <p>議員を減らせという声があり、批判ばかり出てくる。国保税を払っていない議員が一つの例だが、もっと減らせという議論がある。地方議員は一生懸命やっている。歳費を上げたらいい。一部の議員に批判があるのは事実だ。議員はいろんな資格を持っており、役に立つ。岩屋には議員はいない。いろんな議論を。</p>
No.	意見・要望
8	<p>定数削減について大いなる議論が必要ではないか。議員を減らすことによって、少数意見を切り捨てられる。多様な住民の意思反映が困難になる。議会の監視、チェック機能の低下。多様性、専門的な議論が損なわれることが懸念される。福祉の面や専門家がもうちょっとおってくれればと思う。経費の削減で賛成をいうが、デメリットを真摯に受け止め、慎重にやるべきだ。減らせばいいという問題ではない。しっかり話すこと。</p>
No.	意見・要望
9	<p>合併する前は、旧町にそれぞれ議員がいてすごい人数だったが、徐々に減ってきた。1人2人減らしても大きな金ではない。定数を減らすのには賛成できない。議員の中には、押しはこれだという人がたくさんいれば疑問に答えてくれる。人数が減ると議員も大変。専門的知識を蓄え、市民のために働いて欲しい。</p>
No.	意見・要望
10	<p>定数削減を公約に掲げた候補者は多かった。定数を下げようとしたが、だれも署名していただけなかった。議会費を増やすわけにはいかない。1割カットしたままなので、もとにもどしてあげたい。2人減して元の給与にする。執行部は元に戻った。町議は兼業だったが、市議は35万円程度で議員は専業にすべきだ。40代、50代で給与が下がり、4年間の身分で選挙費用がかかる。志があっても奥さんの賛成は得られない。壁を取っ払って欲しい。専業出来るよう給与を上げるべきで、定数を下げるべきだ。</p>